

平成28年

11月

第146号

三鷹市市民協働センター

## ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

三鷹市市民協働センター トークサロン

開催しました

みんなが

いきいきできる

## 居場所をつくるために

開催日：10月17日（月） 参加人数：54人

センターでは今年3月に「サードプレイスがまちを変える」と題して「居場所づくり」をテーマにシンポジウムを開催しました。先進的な「居場所づくり」の取り組みを紹介し大盛況であったシンポジウムに引き続き、今回身近なところの取り組みも紹介したトークサロンを開催しました。これもまた多くの方が参加され、「居場所づくり」の関心の高さが伺えました。

初めに、他自治体の先進事例として「岡さんのいえTOMO」を運営されている小池さんより、お話を伺いました。大叔母である岡さんからの遺言として始まった経緯、開設から10年目を迎える現在までの、地域に根付くまでの苦勞からたくさんの方が集まってくる工夫までお話をいただきました。

次に、新川中原地域ケアネットワーク代表の畑谷さんより、コミセンを利用したサロン事業について伺いました。市の事業の枠組みで始まり、コミセンを利用した取り組みということでの特徴や課題について伺うことができました。

最後に、居場所プロジェクト「さとうさんち」として運営に携わる黒須さんよりお話を伺いました。コミセンでの料理教室から始まった地域での活動が、地域福祉ファシリテーター講座受講につながり、修了生になってから他の居場所への視察から開設に至るまでの経緯も伺うことができました。



小池良実さん

「岡さんの家 TOMO (財)世田谷トラストまちづくりの支援事業「地域共生のいえ」」運営



畑谷貴美子さん  
新川中原地域ケア  
ネットワーク代表

後半は、コーディネーターの進行のもと、会場の参加者からの質問や意見も交え、トークセッションをおこないました。

「次回また来てもらうために、参加者の疑問や質問があれば、全部答えるし、わからなければ次までに調べて答える。そうすると、すごく感謝されるし、また来てくれる。」「誰でも来られるように、あえてテーマも設けずに自由に話してもらう場にしている。読書したい人や特定の話をしたい人もいていいようなスペースも用意している。」「男性に地域参加してもらうには、具体的な目的を設けた方がよいと感じる。」など、ゲストからは具体的な工夫や提案についても教えていただきました。

「空き家対策は、住んでいる人が亡くなったり、いなくなってからじゃ遅い。相続や税金の問題などを含め、所有者が生きているうちに動き始めなければならない。」「老後は実家に帰って親戚たちと過ごすのが幸せだと思っていた。けれど、地域に出て挨拶できる人がいて、地域のいろんな人が挨拶を返してくれる今の状況がまさに幸せだと思うので、やっぱりここに住み続けたい。」など、実際に関わるからこそその課題や思いもお話していただきました。

三鷹市市民協働センターでは「居場所づくり」のテーマで、引き続き、事業をおこなっていく予定ですので、またお知らせいたします。



黒須正雄さん

地域福祉ファシリテーター修了生  
「さとうさんち」運営



もくじ

〈1ページ〉開催しました「みんなが生き生きできる居場所をつくるために」 〈2ページ〉〈3ページ〉三鷹に根付く市民の取り組み「協働組合三鷹中央通り商店会」「三鷹・武蔵野の地域課題をITで解決するCode for Mitaka/Musashino」 〈4ページ〉チョコっとあつぷる一む、助成金等の情報

## 協同組合\*三鷹中央通り商店会

※以下(協)と記す

協働センターでは、商店街の活性化をテーマにしたシンポジウムを昨年開催し、商店街の賑わいづくりに目も向けてきました。(協)三鷹中央通り商店会等と協働して運営する「みたかスペースあい」もその一つです。三鷹の玄関口にある(協)三鷹中央通り商店会は地域に根付いた伝統の行事だけでなく新しい取り組みにもチャレンジしており、まちのにぎわいのために貢献しています。今回、(協)三鷹中央通り商店会の副理事長広瀬充弘さんから商店会を活性化する取り組みをお伺いし、その取り組みのひとつ、M-マルシェについてもご紹介します。

### 地域と共に生きる商店街

### 「育てる機能をもった商店街へ、みんながチャレンジする「場」がある街へ」

(協)三鷹中央通り商店会副理事長 広瀬充弘さん

(協)三鷹中央通り商店会は、法人化されて24年(任意時代から60数年)。発足当時はバブル景気、今は少子高齢の低成長時代。店舗数、業種、経営者もわずか四半世紀で半数以上が変わりました。しかし、発足当時の理念「賑わい創造」への取り組みは脈々と商店会に継承されており、時代の変化を読み、現状打破に向けて行政、企業、団体、市民の皆さんといった外部の方々からのご提案、参画を頂きながら様々な事業を展開しています。



2016年は「地域と共に生きる商店街へ」をスローガンに、①笑顔とおもてなしのころでお客を迎えよう ②行ってみたくなる商店街、店舗とは何かを研究し実践しよう ③商店会員同士声を掛け合い、コミュニケーションを深めよう ④M-マルシェを徹底して進化させようの4つを重点活動目標にしました。M-マルシェはもちろんのこと、33年目の「ふるさと三鷹ふれあい夏まつり」、毎月第3金曜日早朝の街の掃除「ダストバスターズ」は15年が経過、年末の防犯・防災夜回り、商店会の大人神輿、子ども神輿の巡行、福島県矢吹町との交流、商人どうし学びあう商人塾カレッジなど、その活動内容は多彩です。協働センターさんを筆頭に皆さんのおかげで商店街に街なかコミュニティスペース「みたかスペースあい」が誕生しました。商店街から、コトを想起させる場所、人と人、情報と情報を結びつけるコミュニティの場へと変わっていく様は、今後の成熟都市三鷹に欠かせない未来の賑わい創造の大いなるモデルケースとして嬉しい限りです。

<http://mitaka-ekimae.com/>

## 進化する「M-マルシェ」

毎月第4日曜日(冬季除く)に、(協)三鷹中央通り商店会とM-マルシェ実行委員会が主催する、三鷹駅前から南に伸びる中央通りが会場のマルシェです。

Mマルシェの目的「主催者・市民・諸団体の協働の活動により、三鷹中央通り商店街をアート・クラフト・パフォーマンス等の様々な文化の発表・交流の場とすることで、賑わいを創造・発展させると共に来場者へ心地よいおもてなし空間を提供すること。」のとおり、通り一面に個性的な手作り作品、農作物や加工品、おもてなしカフェ、自由なパフォーマンス、そして市民が参加できるイベントなどでにぎわい、市民が心地よく過ごせる空間が広がっています。マンネリ化しない工夫された仕掛けも、色々なアイデアが盛り込まれ来場者を飽きさせません。

また、記憶に新しい熊本地震の直後には、チャリティー募金やバザーが行われ、市民の協力のもと素早い対応がなされました。



三鷹のメインストリートで開かれるM-マルシェは、これまで商店会に親しんでこなかった一般市民が商店のみならず、三鷹に愛着を持つきっかけになるのではないかと思います。

今後の開催予定：11月27日(日)/12月23日(金・祝)

M-マルシェに行ったことない方、知らなかった方、一度お出かけになってみてはいかがでしょうか。病み付きになるかもしれません。



## 三鷹・武蔵野の地域課題をITで解決する Code for Mitaka/Musashino

協働センターで今年4月9日(土)に開催されたトークセッション「市民×IT」で、講師 関 治之さんが代表を務める「Code for Japan」の活動〈地域課題解決に取り組むコミュニティ作り支援や、ITを活用したアクションを創発〉を中心に、ITの力で未来をよりよく変える取り組みについてお話を伺いました。以前からその活動に共感し立ち上げられた「Code for Mitaka/Musashino」の、三鷹・武蔵野の地域課題をITで解決していこうと模索する活動の一部を事務局の荅口昭一さんに紹介していただきました。

Code for Mitaka / Musashinoのコンセプト



### 「Code for Mitaka/Musashino」とは

三鷹・武蔵野の観光、高齢化、少子化、防災、農業、商店街活性などの地域課題をITで解決するという目的で集まった有志で構成される団体です。定期的にミーティングを開催して地域課題を深掘りしたり、より具体化しそうなものはアウトプットを出すことを目指し、小さいプロジェクト単位で活動しています。

<http://codeform.info>



定期開催のミーティングの様相



### IT活用で三鷹・武蔵野の都市農家さんの課題を解決！ 農家と消費者をもっと身近にする「まちなか農家」

2016年10月20日、農家と消費者を身近な存在にしていこう「まちなか農家」を開始いたしました。開始した経緯についてご説明します。

今年の4月、三鷹市市民協働センターのイベントでつながった有志で「都市農業×IT」のプロジェクトを作り、複数回、打ち合わせを重ね、詳細な調査、分析をしました。いくつかわかったことがあります。

- ・農家さんの課題：「消費者に農家のやっていることが伝わっていない」 ←三鷹の若手農家にヒアリング
- ・消費者のニーズ：「農家さんを知ってもらうことでより応援したくなる」 ←消費者アンケートで9割超の回答

これらの農家サイド、消費者サイドの課題やニーズを分析した結果、「農家さんの思いやこだわりを情報発信すること」「消費者の声をひろい農家に伝えること」「農家と消費者を身近にすること」をすることで課題が解決できると考えました。

そして、「まちなか農家」というサービスが生まれました。 <http://machino.tokyo>

#### 《サービスの特長》

1. 農家さんの思いやこだわりを発信をしていくこと  
農家さんにインタビュー取材をし、農家を継ごうと思ったきっかけや生産者としての思いやこだわり、これからどういった動きをしていくのかという思いが伝わる記事を掲載していきます。
2. 消費者の声を届けること  
農家さんから思いやこだわりを伝えるだけでなく、消費者サイドからの声を農家さんに届けていく仕組みをFacebook上で提供します。
3. 農家さんと消費者が身近になること  
農家ファンだけの会員制ファンクラブを結成する予定です（現在準備中）。  
会員特典として、農家さんと会える機会の提供や農作物の駅前提供を予定しております。

#### 《今後の展開》

がんばる農家さんのインタビューの定期掲載のようにコンテンツの充実を図っていきます。2016年度内に、「まちなか農家ファンクラブ」の開始を予定しております。

##### ■お問い合わせ先

団体名： Code for Mitaka / Musashino  
担当者名： 荅口 昭一  
Email： [kokeguchi@korei-bp.com](mailto:kokeguchi@korei-bp.com)



三鷹の農地

※時間:午前10:30～正午



(先着順)

	月日	テーマ・内容	参加費	担当	定員
①	11月10日(木)	羊毛フェルトワークショップ ～キッズ・マフラーを作ろう～	1,800円 (材料費込)	NPO法人子育てコンビニ	6組
②	11月12日(土)	親子ヨガレッチ ～親子で楽しく♪動いて♪&ストレッチ♪～	1,500円 (ご夫婦参加でも同額)	Kupu-Kupu	6組
③	11月14日(月)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 (さらし付き)	はっぴいまむず (助産師・整体師 谷京子)	6組
④	11月17日(木)	「ベビーサイン」で楽しい子育て♪ ～赤ちゃんとお手てでコミュニケーション～	1,500円 (ご夫婦参加でも同額)	Mama & Baby	8組
⑤	11月21日(月)	カラーセラピーで子育てを楽しく! ～色彩心理で心も身体もリフレッシュ～	1,500円	NPO法人子育てコンビニ	6組
⑥	11月24日(木)	みんな一緒に「ベビーマッサージ」 ～赤ちゃんとのふれあいを楽しみましょう♪～	1,800円(ご夫婦参加でも 同額、オイル・シート代込)	Mama & Baby	8組
⑦	11月26日(土)	スリングなど抱っこひもの安全な使い方・選び方 ～赤ちゃんにやさしい抱っこを考えよう～	1,500円 (ご夫婦参加時2,000円)	はっぴいまむず	4組
⑧	11月28日(月)	ヨガママで骨盤調整(ハイハイ前) ～ママの為にヨガで骨盤整えリラックス～	1,500円	花莉屋	8組

【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子  
及び妊娠中のお母さん

(講座ごとに異なりますので、ご確認ください。)

【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター

※お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ・  
お申込みは当センターへ

☆全回、保育はありません。

☆お車でのご来場はご遠慮ください。

☆キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

☆お菓子とお茶をご用意しています。

☆ご夫婦参加の場合は申し込み時に必ずお申し出ください。

## 助成金等の情報

三鷹市市民協働センターに持ち込まれた情報およびセンターで収集した情報を、市民活動に関わるものを中心に紹介しています。詳細につきましては、各ホームページ上などで直接ご確認ください。

- ◆2016年度「第4回プラチナ・ギルド アワード」(お問合せ先:プラチナ・ギルド アワード 事務局)  
<http://platina-guild.org/> (締切日:2016年11月15日)
- ◆2016年度草の根市民基金・ぐらん (お問合せ先:認定NPO法人まちぼっと「草の根市民基金・ぐらん」)  
<http://citizensfund-grand.org/> TEL:03-5941-7948 (締切日:2016年11月19日)
- ◆2017年度 環境市民活動助成 (お問合せ先:一般財団法人 セブン-イレブン記念財団)  
<http://www.7midori.org/> TEL:03-6238-3872 (締切日:2016年12月10日)

### ■町会・自治会へニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けいたします。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

#### Editor's note.

編集後記: いよいよ「わの縁日」の月に突入しました。例年より1週間だけ早い開催ですがあわただしく感じます。秋は何かと行事が多く、複数掛け持ちで忙しくされている方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。そんな中で食べ物のお店は、楽しみのひとつです。そういったところで食べると何故か割増しの美味しさで、その上食欲の秋でもありますのであれもこれもと手を出したいところ、気持ちを抑えるのが大変です。「わの縁日」でも、館内にいい匂いが漂い始めると、お屋は何を食べようかとソワソワします。もちろん仕事の手は止めていません(緩くはなりがちですが)。

### ◆ニュースレター配布場所◆

るま・ばぐーす、グラナダ、三鷹モダンタイムス、美容室TBK三鷹店、コワーキングスペースHammock、TOKYOたまものスイーツ、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこうば、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日:平成28年11月1日

発行:三鷹市市民協働センター

(指定管理者:特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

メール:kyoudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ:<http://www.collabo-mitaka.jp>

開館時間:9:00am-9:30pm 受付時間:9:00am-9:00pm

休館日:火曜日(祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。)